

7・5 豪雨の記憶

5年前の悪夢が再びよみがえった7月5日。またしても日田市を豪雨が襲いました。前回の九州北部豪雨から5年が過ぎようとしていた頃、この豪雨は、九州北部に甚大な被害をもたらし、多くの爪痕を残しました。私たちはこの経験を記録し、今後の防災と備えについて改めて考え、この災害を風化させることなく後世に伝えていかなければなりません。



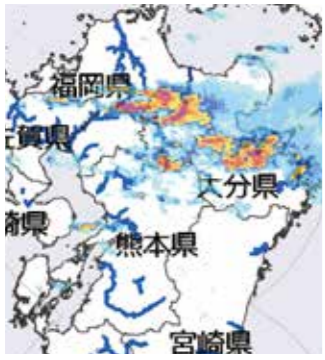
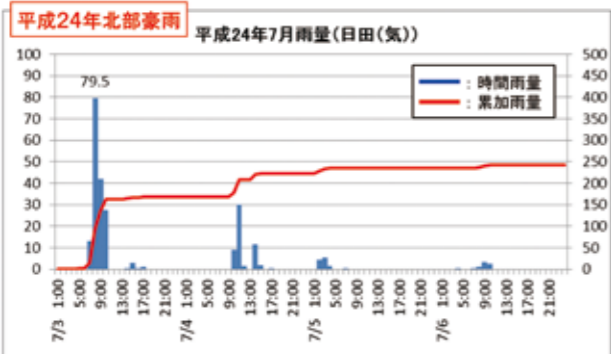
小野地区
猛烈な豪雨で山が崩れ、川をせき止め、土砂ダムができた。
(7月6日)

■被害状況 (11月17日現在)

項目	被害状況	計
人的被害	死亡3人 負傷者4人	7人
住家被害	全壊45棟、大規模半壊31棟、半壊240棟、 床上浸水148棟、床下浸水828棟	1,292棟
非住家被害	全壊41棟、半壊43棟、床上浸水336棟、 床下浸水156棟	576棟
その他被害	道路214件	4,122件
	河川770件	
	公共施設1件	
	土砂災害125件	
	農林水産被害2,809件	
	その他170件	
ライフライン33件		被害総額 238億4千万円

※床下浸水は、市調査による棟数で、リ災証明の判定件数ではありません。

7月5日、昼頃から夜にかけて福岡県から大分県では観測史上最も多い記録的な雨量を観測。日田雨量観測所では、日降水量が336ミリを記録し、平成24年九州北部豪雨(7月3日)の時に比べると累加雨量は約2倍でした。



提供：九州地方整備局

【平成29年7月九州北部豪雨(最大値)】

- 避難指示(緊急) 12,651世帯、31,472人 ※1
- 避難勧告 12,651世帯、31,472人 ※2
- 避難準備・高齢者等避難開始 14,707世帯、35,608人 ※3
- 避難者数(7月5日23:00時点) 449世帯 1,129人

- 豪雨対応の経過(概要)
- 7月5日(水)
 - 11時04分 大雨警報発令、災害警戒準備室設置
 - 13時31分 洪水警報発令
 - 13時45分 土砂災害警戒情報発令
 - 13時52分 大鶴・小野地区に避難準備・高齢者等避難開始
 - 14時15分 災害警戒室設置
 - 15時15分 災害対策本部設置
 - 15時50分 大鶴・小野・三花・夜明・光岡・桂林・咸宜地区に避難勧告
 - 17時40分 東有田・西有田地区避難勧告※2
 - 17時55分 市内全域避難準備・高齢者等避難開始(避難勧告地域以外)※3
 - 18時45分 大鶴・小野・夜明・三花・光岡・桂林・咸宜・東有田・西有田地区に避難指示(緊急)※1
 - 19時55分 大雨特別警報発令
 - 7月6日(木)
 - 6時05分 上津江町・中津江村・前津江町・大山町・天瀬町に避難勧告
 - 14時10分 大雨特別警報解除後大雨警報へ
 - 7月8日(土)
 - 9時00分 災害ボランティアセンター受付開始
 - 16時00分 避難勧告・避難指示(緊急)以外の地区の避難準備・高齢者等避難開始解除
 - 7月9日(日)
 - 13時30分 土砂災害警戒情報解除
 - 7月10日(月)
 - 4時48分 大雨警報解除
 - 7月15日(土)
 - 17時30分 この時間までに市内全域の避難解除
 - 8月8日(火)
 - 17時00分 災害対策本部から災害警戒室へ
 - 8月27日(日)
 - 17時00分 災害ボランティアセンター閉鎖
 - 10月2日(月)
 - 9時00分 災害警戒室から災害情報収集室へ